

予 算 要 求 資 料

令和5年度5月補正予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費

目：児童扶養手当法等運営費

事業名【新】子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 家庭支援係

電話番号：058-272-1111(内3556)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 142,500 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	142,500	142,500	0	0	0	0	0	0	0
決定額	142,500	142,500	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得のひとり親世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

（2）事業内容

町村に住むひとり親で下記①～③の対象者に対し、児童一人当たり一律5万円を支給する。

①令和5年3月分の児童扶養手当受給者（申請不要）

②公的年金等を受給していることにより、令和5年3月分の児童扶養手当の支給を受けていない者（要申請）

※児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る者のみ

③令和5年3月分の児童扶養手当は受給していないが、食費等の物価高騰の影響を受けて家計が急変している、収入が児童扶養手当受給者と同水準の者（要申請）

・①については可能な限り5月末までに支給

・②③については可能な限り速やかに支給

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国10/10（新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金）

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金、補助金 及び交付金	142,500	①令和5年3月分児童扶養手当受給者 131,250千円 ②公的年金等受給により、児童扶養手当の支給を受けていない者 3,750千円 ③家計が急変したひとり親の子育て世帯 7,500千円
合計	142,500	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

令和5年4月10日付けこども家庭庁 子支家第13号「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の支給について」の通知に基づき全国で実施

(2) 事業主体及びその妥当性

国の制度に基づき実施するものであり、県の実施は妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

物価高騰による影響を踏まえ、低所得のひとり親世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

物価高騰による影響を踏まえ、低所得のひとり親世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するものであり、指標の設定はなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国の動向を注視していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------